

伊 議会だより しぜん

第51号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 尚菴美新社印刷

8月20日(土) 徳之島交流ひろば 「ほーらい館 癒ていなホール」に
おいて合同金婚式が開催されました。



合同金婚式出席者の11組 (写真左から)

3列目: 吉田繁弘・勝子夫妻 (古里)・荻田博一・ミツ江夫妻 (休之香)・文元教夫・久久江夫妻 (伊仙)・芳本武治・マツ夫妻 (休之香)

2列目: 中井徳次郎・冬子夫妻 (阿三)・永山之三・サヲ夫妻 (阿三)・福章夫・重子夫妻 (面縄)・鶴永島弘・寧子夫妻 (阿三)・文元教夫・敏子夫妻 (伊仙)

1列目: 政岡勝美・梁子夫妻 (喜念)・直教育長・大久保町長・琉議長・西野亮市・廣子夫妻 (伊仙)

行政視察

今回の行政視察は石川県珠洲市・金沢市にお伺いしました。

「研修レポート 平議員」



～珠洲市～

珠洲市の概要説明では、人口約1万5千人と石川県の市の中では一番人口が少ない市で、能登半島の先端という事もあり、金沢市より車で2時間半と地理的条件が悪く、過疎化、少子高齢化が進み、特に高齢化率が45.8%と高く、奄美群島と類似しているという印象を受けました。

過疎や少子高齢化等、山積する課題を大学の「知力」と地域のマイスターとの共同で解決を図るといっても斬新な政策は、今後我町の抱える旧農業高校跡地問題や町づくりに関してもとても興味深い内容でありました。

東京から金沢まで新幹線で2時間半、金沢から珠洲市まで車で2時間半と地理的条件がネックとなっているが、平

どの自治体においても活力ある町づくりについては試行錯誤している現状だが、珠洲市においては空き校舎を活用し奥能登2市2町と金沢大学、石川大学とで「地域づくり連携協定」を締結し、4千万円をかけて校舎を改修し「能登里山マイスター」養成プログラムを開始、平成20年8月にはNPO法人「能登半島おらっちゃん里山里海」を設立するなど毎年さまざまに事業を実施してまいりました。平成19年から27年までに128名のマイスターが育成地域の活性化に繋がっているとのことでした。

成27年度は北陸新幹線の開業、映画「さいはてにて」の公開やNHK朝のドラマ「まれ」の放送等の影響もあり、平成3年度以来観光客数が100万人越えて、平成27年度は133万人が訪れました。

しかし、現状としては、宿泊者数の減少に伴い宿泊施設数も昭和51年の156軒から平成27年には35軒と減少しており国民宿舎の改修、コテージの建設等を行なったが、市内宿泊は厳しい状況であるとのことでした。

そこで、対策として、能登空港利用者やレンタカーでの宿泊者への助成制度の創設、奥能登にしかない魅力ある祭りや、食文化、伝統、里山里海などを活かし併せて受け入れ態勢にも取り組んでいくとのことであり、今後世界自然遺産登録を見据えた我町にとっても大変貴重なお話を聞くことができました。



シェア金沢

金沢市では「シェア金沢」にお伺いしました。

シェア金沢は「社会福祉法人佛子園」が運営している施設の一つで、高齢者、障害者、大学生から小学生、そして集落住民のよりどころとしてお互いにワークシェアし、一つの「町」を構築している施設であります。

私たちが訪問した際もレストランでは障害者の方が作ってくださった弁当を頂き、売店では高齢者の方々が対応してくださいました。

施設の説明では施設長より、障害者施設が基本となり、障害者から高齢者、健康者の老若男女、地域の方々も交えて一緒に暮らせる仕組みづくりが大切と考えており、

地域コミュニティセンターとして地域住民のよりどころになるように温泉や駄菓子屋を併設し、夜は居酒屋営業も入所者や地域住民でワークシェア運営を行なっているとのことでした。

しかし、当初は住民の方々には「障害者施設」と抵抗を感じイベントなどを行なっても参加が少なかったが、現在は多くの方々が関わり、佛子園の求める姿になってきているとのことでした。今後地域の方々も交えて一緒に暮らせる仕組みづくりに取組んでいきたいとのことでありました。

この研修で学んだことを伊仙町議会全員で伊仙町発展のために町執行部と車の両輪となり今後我町が目指すCCRC、町づくり、町おこし等に取組んでいきたいと思えます。



平成28年 第2回定例会

一般質問



美山 保 議員

をされておりま
が、その後どのよ
うに対応されてい
るのが問う。
運動会や学習発
表会、文化祭で
の指導

導 総合学習で芸能文化を指

問

近年、各集落の芸能文化活動に参加する人口が減少しているように感じられる。そこで、伊仙町における芸能文化を継続していくためには、集落住民だけでなく、学校教育における総合学習の中で小、中学校の生徒に指導することが大切であると思われ。このことについて前回、26年12月議会でも一般質問を行っておりますが、その時の答弁では、「校長会や教頭会、そして先生方にも通達などを行ない、芸能文化の育成に対応して行く」と答弁

答

(教育長) 毎年12月頃から各学校では、次年度の教育課程編成の準備に入りますが、そのときに地域の実態に応じて教育課程に位置づけるようにお願いしているところ。また、教育課程には位置づけていないが、運動会あるいは学習発表会、文化祭の前集落の皆さんに指導してもらっている学校もあります。このように、どの学校も伝統芸能については共通の認識で取り組んでいます。

他の町においては、総合学習の中で時間をとって芸能文化を指導

問

徳之島町の神之嶺小学校では、総合学習の中で時間を設けて芸能文化を指導していますが、我が伊仙町においてもこのように学校の中で教育委員会が積極的に率先して伝統芸能文化を取り込むことは出来ないか問う。

答

(教育長) 子どもたちや児童生徒が、芸能文化に触れたり、あるいは知ることによって、郷土に対する愛着あるいは誇りを醸成する事が出来ると思いますので、教育委員会としても、この芸能文化は非常に大切なことであると思えます。率先して学校にも取り組むように指導していきたいと考えています。

文化協会への補助金対応

問

伊仙町文化活動の活性化を図っていく為には、町民が一体となって芸能文化活動を理解して盛り上げ、町民が明るく活気のある

芸能文化について、学校で率先して取り組んでいく

答

まちづくりに貢献して行くことが必要であると考えているが、それには予算が伴う。現在の伊仙町の限られた予算の中で厳しさがある。そこで、地方創生関連事業の中で、芸能文化を育成する事業はないのか。また、宝くじ事業やコミユニティー事業の中の活力ある地域づくり事業において文化協会が補助金を受ける事は出来ないか問う。

答

伝統文化の継承と復活に
対して、全力で取り込む

(町長) 現在、地方創生という大きな流れがあり、これは簡単に言えば東京一極集中からの是正ということであり、県内においても、鹿児島へ一極集中の是正であり、町内においては伊仙校区から全ての校区に若者を分散させ、小規模校を存続させていく、そのことの一歩の意味は、伝統文化の継承と復活、そしてさらなる新しい伝統文化を創造していくということにもなり、そのことがまさに地方創生そのものだと思は信じております。地方創生事業の中で、今私たちがやっている一番の大きな柱は、各集落への住宅政策であり、そ

地方創生事業で文化協会の事業費の獲得

問

町の文化協会の活性化を図り、活力のある町づくりを推進して子や孫に継承して行く為に、社会教育課のほうで地方創生事業や企画課など各関係課と連携して文化協会へ事業費を獲得できないか問う。

文化協会でも議論して申請を行う

答

(社会教育課長) 国や県、その他の財団や振興会からの補助金を助成事業団体の示す要件の内容を満たすものであれば受ける事は出来ます。現に今年度も鹿児島県文化振興財団の伝統文化の保存継承に係る助成事業を文化協会内の一団体の助成が決定している状況でございます。また、地方創生事業においても、例えば文化協会内において、この伝統文化の継承のためにこのような活動をすすめる。またこの伝統文化の復活

の為に、このような取り組みをする事業内容等とりまめていただいて、諸経費等協議していただき、担当課に提案をすることが出来る状況かと思えます。今後とも我々担当課では、文化協会への助成事業団体の案内や、事業内容等を提示、協力しながら提案していきたいと思えます。

各集落や主要道路等の案内看板設置

問

平成30年度の世界自然遺産登録に向けて、町内各集落の案内看板や主要道路の行き先案内看板が不足していると思われる。町内外の人達からも看板があれば、との声が聞かれます。世界自然遺産に認定されるとさらに必要性を感じるのではないかと。また、夜間になれば、なお看板の必要性が感じられるのではないかと思われ。そこで、地方創生事業で各集落内の看板や主要道路の行き先案内看板を設置することはできないか問う。

活性化に取り組んでいる集落への報奨金

答

(町長) 観光客だけでなく町内外の人達でも夜は看板が見にくいですが、昼間でも集落がよくわからないと、たびたび指摘をされております。観光客が来られた際、タクシー運転手の方からもいろいろと指摘をされておりますので、これは早急に取り組むべき課題だと思っております。駐在員会の中でも各集落にお願いで、手作りで集落の案内看板を作ることも重要ではないかと思えます。伊仙町においても、各集落でいろんな提案をして集落の活性化のための活動を行った集落に報奨金を出すという制度がありますので、それも活用しながらやっていかなければならないと思っております。

世界自然遺産に配慮して、3町で計画している

答

(企画課長) この看板作成や、看板がないということは、何度も質問を受けておりますが、世界自然遺産登録を目の前にして、鹿児島県において持続的観光マスタープランというものを平成28年度において策定されております。

また徳之島3町は、昨年度の景観団体の指定を受けており、世界自然遺産ともなれば自然に配慮した街並みと調和のとれた看板、色合い等を3町で計画している段階でございます。この計画出来た段階で県の方へ補助等申請しながら取り組んでいきたいと思っております。



八月おどり (目手久伝統芸能)



明石 秀雄 議員

問 教育委員の仕事、役割とその人数は何人か。

答 (教育長) 教育委員会
は、合議制の執行機関
で、5名の教育委員をもって
組織されています。役割につ
いては、毎月一回の定例会や、
必要に応じて召集される臨
時会、教職員の人事異動の決
裁や、教科書採択等、学校行
事、入学式、卒業式等、各学
校と連携を取りながら進めて
おります。

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第三条では、委員5名を持つて運営すると謳われているが、本町では、委員ではない指導主事、社会教育指導主事、または、学校長等が参加していると聞かれますが、改善が出来るか伺います。

答 次の定例委員会議において、提案して解決したいと思いません。

問 教育委員の研修は何回か、またどのような研修を行っているか。

答 県及び大島地区教育委員会連絡協議会、徳之島地区連絡協議会等、の研修会は予算の許す範囲内において研修を行っています。今後、できる限り研修の機会を設けて、委員の資質向上に資するよう一層努めていきたいと考えています。

問 本町独自の研修等は考えられないか。

答 委員の資質向上という面からも、研修計画を立てるよう、次の委員会議に提案したいと思えます。

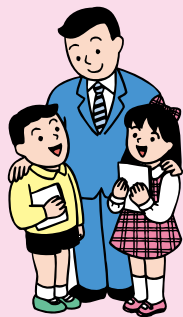
問 教員住宅の整備について、既存の教員住宅の現状、件数、空き物件数、入居件数等について伺う。

答 (教委総務課長) 現在、町内に教職員専用住宅は42戸あり、うち老朽化などにより空き家と報告している戸数は13戸です。教職員住宅のほとんどが昭和40年代から50年代に建てられており、老朽化しているのが現状です。現在は、部分補修で対応している現状です。また、定期の人事異動である3月に居住者の退去後、次の居住者の入居までの日数が短いために大規模な改修に着手できず、根本的な改善の実施に苦慮しております。今後の計画としては本年度より第5次伊仙町総合計画等により、逐次整備をしてまいります。

問 教員の町内居住の取り組みはどうなっているのか。

答 (教育長) 毎年1月と2月の校長会等で確認を取っています。また対象教員に対して伊仙町の概要などを発送しその旨呼びかけていますが、まだ4割強が町外居住になっています。

(町長) この現状解決のため教員住宅整備、町内居住については、教育委員会と相談をしながら、努力していきたいと思えます。



長寿と子宝日本一の町



牧 徳久 議員

問 国の地方創生法の制定とともに伊仙町においても昨年12月に「まち・ひと・しごと創生伊仙町総合戦略」を策定し、町の将来像

を掲げ、また地方創生関連事業の大半が補助率2分の1と現状の中、財政的に推進していきけるのか疑問である。このことをどう考えているのか問う。

や目指すべき方向性など基本的目標を明示し取組んでいる事と思えますが、今回CIRCのモデル地区とならなかった理由を長寿と子宝の出生率日本一の町としてどう受け止めていくのか。また地方創生関連事業の大半が補助率2分の1と現状の中、財政的に推進していきけるのか疑問である。このことをどう考えているのか問う。



教職員住宅 (河地)



教職員住宅 (木之香)



教職員住宅 (西犬田布)



教職員住宅 (喜念)

**提案次第で上乗せ交付金
という形で補助**

答 (町長) 生涯活躍の町、日本版CCRCのモデル地区を選定するという情報がありましたので全国離島から、1地区でもモデル地区になるようにということであらゆる戦略を立て努力して参りました。今回発表された7地区を見てみますと多くが中規模の市であります。大学や、大規模な医療施設などがあることが条件で設定されているような気がします。国、県の説明では地方創生交付金は補助率が2分の1だと最初から断定されましたが、後で色んな戦略を立てて提案したら、上乗せ交付金という形で100%補助され、また昨年11月の加速化交付金もそのとおり、最終的に地域間競争だということ、各自自治体で良い提案をしたところにお金が来たということでありますので、その辺を含めて国や県の動向をしっかり注視しながら取り組む事が大事であると思います。



暗いイメージを払拭し明るい町づくり

問 農道、町道の整備問題については、たびたび議会でも取り上げて来ましたが、小島集落では全く変化が感じられません。6月号議会だよりの「町民の声」としてインタビューを行うと道路が悪く、車の走行や散歩ですら不安であるとの意見などもあり真剣に考えて頂きたい。今後、対応できるのか問う。

答 (町長・建設課長) 小島地区は集落内における道路等の改修が遅れていますが集落までの道路は畑総の関係等で河地からの道路もスムーズになり、ウワナル線、西原線も集落までのアクセスという面では改善しております。集落内の道路は今後計画的に順次整備を進めて行きたいと思っております。

畑の水没した箇所の進展

問 糸木名地区の畑が水没した箇所について、以前にも一般質問で取り上げ議会でも現地調査を実施し、一日でも早く畑の冠水を解決するため地権者と交渉し、東側

答 (町長・総務課長) この糸木名地区の問題に関しては、この地区が畑総事業の計画内に入っておりますのでそのことも前提に対応してきた中で現状では畑総事業は困難ではないかという話なども出ておりますので町行政内で何とか少ない予算の中で進めることが一番重要でないかと思っております。地権者に関しましては、数年間多大な迷惑をかけた事になりますのでそのことに関しましてはお詫び申し上げたいと思っております。測量技術のある職員にまず設計をさせ、その後で工事をするという事で地権者としつかりと話し合いをしながら納得できるような形で進めていきたいと考えています。

の川まで排水路を敷設することであったが、その後進展しているのか問う。

限られた少ない予算で対応を検討

問 先般、県知事が徳之島なくさみ館に来館され

答 (町長・総務課長) この糸木名地区の問題に関しては、この地区が畑総事業の計画内に入っておりますのでそのことも前提に対応してきた中で現状では畑総事業は困難ではないかという話なども出ておりますので町行政内で何とか少ない予算の中で進めることが一番重要でないかと思っております。地権者に関しましては、数年間多大な迷惑をかけた事になりますのでそのことに関しましてはお詫び申し上げたいと思っております。測量技術のある職員にまず設計をさせ、その後で工事をするという事で地権者としつかりと話し合いをしながら納得できるような形で進めていきたいと考えています。

地域振興事業で牛の体重測定器設置を

問 先般、県知事が徳之島なくさみ館に来館され

答 (企画課長) この地域振興事業は地域振興局と支庁が各地域におけるそれぞれの地域固有の課題解決や地域活性化策に迅速かつ柔軟に取組むために市町村や民間団体等と連携しながら地域における緊急的、特徴的、広域的な課題に対処する取組みを行うとされており、3町連携で行うことはできると考えます。その場合は闘牛連合会や闘牛協会の名前を使い3町でまとめて行く事ができると思

た際、牛の体重測定器を設置できないか要望してありましたが、これについてその後、県議を通じて「大島支庁の地域振興事業で対応できると思う」という回答であったが、補助率が2分の1であるため3町広域でも申請が可能だと思いが財政面を考慮し、唯一徳之島の代表的な施設として両町に呼びかけたら良いと思うが見解を問う。

広域的な課題に対処する取組み



なくさみ館 (目手久)



答 (企画課長) この地域振興事業は地域振興局と支庁が各地域におけるそれぞれの地域固有の課題解決や地域活性化策に迅速かつ柔軟に取組むために市町村や民間団体等と連携しながら地域における緊急的、特徴的、広域的な課題に対処する取組みを行うとされており、3町連携で行うことはできると考えます。その場合は闘牛連合会や闘牛協会の名前を使い3町でまとめて行く事ができると思

平成28年 第2回定例会 (平成28年6月16日～20日) 全議案

| 議案番号 | 議案件名 | 備考 |
|--------|---|------|
| 陳情第3号 | 「伊仙町東伊仙地区県道改良工事に関する陳情書」について | 継続審査 |
| 承認第2号 | 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第3号 | 伊仙町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第4号 | 平成27年度伊仙町一般会計補正予算(第13号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第5号 | 平成27年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第6号 | 平成27年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第7号 | 平成27年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第8号 | 平成27年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第9号 | 平成27年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第6号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 承認第10号 | 平成27年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第4号)の専決処分の承認 | 可決 |
| 報告第1号 | 平成27年度伊仙町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 | 可決 |
| 報告第2号 | 平成27年度伊仙町簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告 | 可決 |
| 承認第11号 | 議案第48号「伊仙町課設置条例の一部を改正する条例について」の撤回について(追加議案) | 可決 |
| 議案第44号 | 伊仙町辺地総合計画の策定について | 原案可決 |
| 議案第45号 | 伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第46号 | 伊仙町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第47号 | 徳之島地域文化情報発信施設設置条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第49号 | 平成28年度伊仙町高規格救急自動車購入事業購入契約 | 原案可決 |
| 議案第50号 | 平成27年度 東部地区簡易水道事業東部浄水場施設整備工事(3工区)請負変更契約 | 原案可決 |
| 議案第51号 | 平成28年度伊仙町一般会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第52号 | 平成28年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第53号 | 平成28年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第54号 | 平成28年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第55号 | 平成28年度伊仙町一般会計補正予算(第2号) (追加議案) | 原案可決 |

各種協議会における委嘱議員名簿と任期

| 番号 | 管轄課 | 協議会(委員会)名 | 委嘱議員名(議席順) | | 任期 |
|----|--------------|-----------------------|----------------------------|----|---------------|
| | | | | 人数 | |
| 1 | 総務課 | 町有施設利活用検討委員会 | 前 徹志・樺山 一 琉 理人 | 3人 | 平成29年3月31日まで |
| 2 | 企画課 | 行政運営調査会 | 琉 理人 | 1人 | 平成30年6月30日まで |
| 3 | 税務課 | 該当なし | | | |
| 4 | 町民生活課 | 伊仙町へき地保育所運営協議会 | 美山 保 | 1人 | 平成29年6月30日まで |
| | | 伊仙町子ども・子育て支援会議 | 平 博人 | 1人 | 平成30年6月30日まで |
| 5 | 保健福祉課 | 伊仙町国民健康保険運営協議会 | 平 博人・岡林 剛也 福留 達也 | 3人 | 平成28年10月31日まで |
| | | 伊仙町民生委員・児童委員推薦会 | 福留 達也 | 1人 | "任期切、再委嘱予定" |
| 6 | 保健センター | 予防接種健康被害調査委員 | 上木 千恵造 | 1人 | 設定なし |
| | | 伊仙町健康づくり 母子保健推進協議会 | 平 博人 | 1人 | 設定なし |
| | | 健康長寿いせん21推進協議会 | 平 博人 | 1人 | 設定なし |
| 7 | 経済課 | 伊仙町農業振興戦略会議 | 永岡 良一・美島 盛秀 | 2人 | 設定なし |
| 8 | 建設課 | 伊仙町建設事業協議会 | 美山 保・明石 秀雄 永岡 良一・琉 理人 | 4人 | 設定なし |
| 9 | 耕地課 地籍調査室 | 該当なし | | | |
| 10 | 環境課 | 伊仙町清掃事業審議会 | 伊藤 一弘 | 1人 | 平成30年5月31日まで |
| 11 | 水道課 | 伊仙町水道運営審議委員会 | 福留 達也・明石 秀雄 永岡 良一・伊藤 一弘 | 4人 | 平成30年8月31日まで |
| 12 | ほーらい館 | 該当なし | | | |
| 13 | 会計課 | 該当なし | | | |
| 14 | 農業委員会 | 該当なし | | | |
| 15 | 教育委員会総務課 | 該当なし | | | |
| 16 | 学校給食センター | 該当なし | | | |
| 17 | 社会教育課 | 青少年育成交流推進事業実行委員会 | 福留 達也 | 1人 | 平成29年1月31日まで |



どうなった？ あの一般質問の行方は…



昨年度に引き続き平成27年に行われた定例会で通告された一般質問を追跡調査し掲載して参ります。

●まず初めに平成27年通告された一般質問は、重複もありますが、89項目ありました。

内訳

| | | | | | | |
|--------|----|------|--------|----|------|-------|
| 第1回定例会 | 5名 | 30項目 | 第2回定例会 | 5名 | 22項目 | |
| 第3回定例会 | 4名 | 21項目 | 第4回定例会 | 6名 | 16項目 | 計89項目 |

●次に、各課（分野）ごとに分けてみると

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ①教育委員会・社会教育課（2項目） | ②企画課（観光・地方創生など）（17項目） |
| ③総務課・選管（財政など）（31項目） | ④水道料・税務課・保健福祉課（租税など）（2項目） |
| ⑤水道課・環境課（環境衛生など）（6項目） | ⑥建設課（11項目） |
| ⑦耕地課・経済課（農業など）（18項目） | ⑧町民生活課（くらしなど）（2項目） |

※このような結果となりました。昨年に引き続き本町の基幹産業である農業についての質問が多いことはもちろん、新たな取組みとして地方創生に関する質問が多いようでありました。

●今回は、租税についてを追跡し、現在の経過を掲載いたします。

（第1回定例会 永岡議員の一般質問）

- ① 徳之島町では、2月11日に税金滞納者から差し押さえた物品を入札にかけて、売却する公売会を実施しています。これは、徳之島では初めての試みということですが、本町では滞納者対策（特に悪質な滞納者）について、「伊仙町町税等の滞納に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」に則した制限措置の実施を含む対策を講じているのか問う。
- ② 町長は、例年施政方針における徴収対策について、貴重な自主財源である町税等の確保が、行政サービスを行ううえで重要な課題であると位置づけています。また、この課題を解決するためには、法に則して滞納処分を厳正に遂行し、町民へ税の公正・公平な負担等を周知、徹底することにより収納率を上げていくと方針を示しておりますが、具体的にどのような措置を講じていくのか問う。

（回答：税務課長）

- ① 番目については、「伊仙町税等の滞納等に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」に沿って、町税、国保税の滞納者に対しましては、町営住宅の入居、町有牛の申し込み、認可保育所の入所などの時に全額納付もしくは分納誓約書の提出がない限り行政サービスが受けられない対策等を講じています。
- ② 番目は、差押えの実施や平成27年度課税分より延滞金を科することにより納期限内納付の確立に取り組んでまいります。

（その後の取組み）

- ① 番目については、答弁のとおり実施しております。
- ② 番目については、高額滞納者や悪質滞納者など精査して預貯金及び給与差押えを実施しました。また家宅捜索により差し押さえた物品で3町合同公売会を開催し、町民の納税意識の向上を図ることができ大きな成果を得ました。併せて延滞金を科することにより納期限内納付の意識を高めることができました。

町民の皆様、残暑厳しい9月となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

前回（議会だより第50号）の編集後記にて皆様からのご意見、ご要望、ナイスなアイデア等々募集いたしましたところ、たくさんの反響がありましたので今回は趣向を変えて【あなたの声が議会を変える（かもしれない）町民の生の声〔町議会編〕】と題して紹介したいと思います。

あなたの声が **かもしれない** 〔町議会編〕 なま **議会を変える町民の生の声**



お年寄りや車を持ってない人に限らず、葬儀のたびに亀津まで行くのが大変なので、是非町内に葬儀場を造るなり、誘致するなりしてほしい。(80代女性)

選挙前だけじゃなく普段から町民の声を聞く耳を持ってほしい。(70代男性)

議員定数・報酬は他の町村と比べて適正と言えるのか？また、議員同士でこの事について議論はないのか？(60代男性)

基幹産業であるサトウキビの買い取り価格が上がれば農家の収入が増え、後継者も育ちやすくなると思うので、ぜひ中央に要望してほしい。(70代男性)

町側と馴れ合いになってはいないか？もっと緊張感をもって対峙して欲しい。(60代男性)

議会開催中以外どういう議員活動をしているのかわからないので、各種審議委員会などの担当を教えてください。そうすれば町民も相談しやすいと思う。(50代男性)

町職員の町民に対する態度や言葉遣い、行動を監督・指導はできないか？(50代男性)

先進地視察研修について ・ただの観光旅行になってはいないか？ ・そもそも議員全員で行く必要があるのか？ ・場所や目的はしっかり検討されているのか？ また成果は出ているのか？ はなはだ疑問だ。(50代男性)

町の広報誌だけでは町の現状・未来（諸問題・大きな事業等）が分かりづらいので、全議員との町民参加型の議会報告会を開催して欲しい。(50代男性)

「町長と議会は車の両輪」と、よく言っているが、ただの追認機関になっているのではないか。行政の監視・チェック機関という役割を果たして欲しい。(50代男性)

パソコンを持っている人は議会中継を視聴できるが、持っていない人のために天城町の様にテレビ中継して欲しい。(50代女性)

議会に関心は薄い若い議員にはしがらみに縛られず、頑張してほしい。(50代女性)

議員はクリーン作戦や集落行事には積極的に参加してほしい。(40代男性)

一般質問をする議員が毎回同じ顔ぶれなので他の人もやってくれた方が選挙の時の参考になる。(40代男性)

箱モノを作らせないで欲しい。今ある施設もきちんと管理・運用できてないのに、これ以上増やして維持費や労力を費やすぐらいなら、町民の生活の為（特に若い世代の子育て支援・教育の質の向上）に使ってほしい。(30代女性)

大変厳しく辛辣なご意見や参考になるご意見がいろいろありましたが、今回はこれ位に致しまして、議員一同、しっかりと、これからの議会活動に活かしてまいりたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

徳之島3カ町議会議員 連絡協議会における奉 仕作業

6月26日に開催された「第29回トライアスロンin徳之島大会」を前に、6月18日(土)天城町B&G海洋センターにて、3カ町合同ボランティア作業を実施しました。この活動は地域振興を目指す意識啓発活動の一環として昨年から始まりましたが引き続き継続して活動をしてまいりたいと思います。



議会の動き

平成28年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)

動静期間:平成28年第1回定例会(閉会3月23日)以降の分

3月

- 24日 町立各小学校卒業式(町内小学校)
- 29日 伊仙町企業誘致促進施設落成式(株)日本マルコ
- 31日 伊仙町職員退任式(中央公民館)
(株)光正、坂口社主来庁

伊仙町体育協会総会

- 29日 瀬田海浜公園海びらき(瀬田海浜公園)
- 30日 野村哲郎氏・金子万寿夫氏合同国政報告会
(ほーらい館)

4月

- 5日 議会運営委員会(議会委員会室)
- 6日 町立各小・中学校入学式(町内小・中学校)
交通安全運動出発式(徳之島警察署)
- 7日 徳之島高校・樟南第二高校入学式
戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦士慰霊祭(犬田布岬)
全員協議会
- 14日 議会議長・事務局長合同会(奄美市)
- 15日 各常任委員会委員長会
- 20日 伊藤知事と「地域リーダーと語る会」
- 21日 伊藤知事町内視察
- 22日 企業誘致ワーキンググループ会
伊仙町建設事業協議会
地方創生総合戦略特別委員会
伊仙町体育協会理事会
- 25日 企業誘致協議(熊本)
- 26日 県政説明会(県庁)
奄美ドクターヘリ導入に係る説明会
県庁奄美会員との合同懇親会(城山観光ホテル)
- 28日 全員協議会・各常任委員会
徳之島地区防犯組合連絡協議会監査

5月

- 11日 離島議長研修会(鹿児島市)
- 12日 議員研修会(鹿児島市)
- 13日 借上げ型住宅先進地研修(大崎町・始良市)
- 17日 平成28年度伊仙町商工会通常総会
- 18日 伊仙町議会行政視察(龍郷町)
- 19日 第59回奄美群島市町村議会議員大会・議員研修会
(喜界町)
- 26日 徳之島建設業協会総会
- 29日 伊仙町地域女性団体連絡協議会総会
ふれあいスポーツ大会

6月

- 2日 平成28年度奄美群島各種協議会総会(奄美市)
- 6日 徳之島地区防犯組合連絡協議会総会(ほーらい館)
- 7日 各常任委員会による閉会中の継続審査
- 8日 平成28年第2回伊仙町議会定例会告示
- 10日 議会運営委員会
- 16日 平成28年第2回伊仙町議会定例会開会

以上

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

町民の皆様、残暑お見舞い申し上げます。6月定例会は6月16日(土)20日までの5日間に渡って行われました。今回の定例会における主なものは、27年度予算の専決処分並びに28年度補正予算関係の審議、そして一般質問等でありました。

議会だよりには審議事項や、一般質問を要約して掲載してありますが、より正確に知りたいと思われる方は、議会事務局に議事録を備えてありますので閲覧していただけたらと思います。

この編集後記を書いているのは8月下旬ですが、例年以上に、熱中症で救急搬送されている方が多いと聞きます。また、今年の台風発生数は例年を大きく下回り10号までしか発生していません。不思議なことに1度も奄美群島に接近するようない台風も発生していません。幸いなことに今年はいよいよ台風の接近が無くもかかわらず、毎日のように適度な通り雨が降り、サトウキビを始めとする農作物は例年になく大豊作が期待されています。このまま大きな災害もなく群島全体が潤っていくのを祈るばかりではありませんが、台風シーズンが終わるまでは油断などせず、最後まで参りたいものです。

最後に、少し恥ずかしい話ではありますが、お盆前後から、毎晩のようにお悔やみや、お祝い事、友人・知人・親戚との集いや、お祝いに生来の不摂生も重なり体調を壊しかけてしまいました。皆様方におかれましては、十分な食事と睡眠を確保し、体調を整えて厳しい残暑を乗り越えていただきたいと思います。

(文責 福留 達也)

議会広報編集委員会

- 委員長 牧 徳久
- 副委員長 岡林 剛也
- 委員 福留 達也
- 委員 平 博人
- 委員 永岡 良一